

# 令和元年度 社会福祉法人未来 本部事業実績報告

## 1 総括

令和元年度は、前年度に引続き本部機能の強化を図るとともに、リスク管理の強化を主な課題とした。本部専任職員の配置による事務の本部集約化や事業所間の連携のもと各事業所に共通の業務については、業務ごとに担当施設長を決めたことで、事務の効率化や標準化が進んできている。一方、各事業所の事業管理については、事業所によって差はあるものの、その主体性やレベルにおいて、まだ課題が多い。平成29年度以降課題となっているPDCAサイクルの実施については、少しずつ改善は図られているもののまだ十分とは言えず、事業活動や経営状態の分析や課題の抽出とその対策についても迅速さが欠けていることが多かった。また、複数の事業所で職員の離職が多く、事業の発展的展開が困難であったが、事業目的を共有したチーム作りがなされていないことが職員の定着率に関係していると考えている。

リスク管理については、特に安全運転と労務管理に力を入れた。運転については研修や日常指導の強化を図った。事故の件数は減少しなかったが、軽微なものも多く重大な事故の発生はなかった。また、労務管理については、休憩時間の確保を徹底するなど法例遵守を徹底した。今年度は交通事故を含め誤薬、離接などで大事に至ったものはなかったが、今後も事故ゼロを目指し、安全確保の徹底を図っていきたい。

## 2 重点課題

### 1) 事業

#### (1) 各事業所の職員数確保

##### 【成果と課題】

令和2年2月末の東京都の有効求人倍率は1.96倍と求人側には厳しい数字が続いており、年間を通して求人活動を行ったが、ハローワークや有料求人広告を通じての応募者が少ないうえに、離職も多く、人員不足の状態が続く結果となった。年度前半は派遣職員の活用、後半は人材紹介会社の活用を中心に人員確保、特に外国人労働者の採用に力を入れ、年度末には状態はやや改善された。人材供給側も広告から紹介が中心になりつつあり、採用者一人当たりに要するコストは上昇傾向にある。

※ 求人及び採用状況等詳細は下に記載。

年間採用者	36名
年間離職者	28名（内今年度採用 6名）
派遣社員採用	20名（内年度末継続中 1名）
求人活動に要した費用	11,631,918円（前年度3,514,254円）
採用者一人に要した費用	465,277円（前年度292,855円）

#### (2) 地域生活支援拠点事業の検討

【成果と課題】

小平市の自立支援協議会においては具体的な進捗は見られてない。しかし、近隣市である、東村山市障害支援課より、地域生活支援拠点等の設置について、地域の社会福祉事業実施法人と協定を結ぶことでその整備を進める方針である旨の説明を受け、東村山市又は同市基幹相談支援センターからの依頼に基づき緊急時等に障害福祉サービスの提供を行うための協定を締結することとなった。実施は、令和2年4月1日からとなる。

(3) 2021年4月共同生活援助と短期入所併設事業所開設の準備

平成30年度までに完了した事項 - 小平市障がい者福祉課との計画合意

令和元年度の実施事項 - 用地確保・資金計画の作成（自己資金、補助金、借入金の金額精査）

【成果と課題】

民間金融機関より融資を受け、土地の購入を行ったほか、設計・監理業者の選定まで進んだ。令和3年4月開設に向けて、次年度に建物建設とそれに伴う補助金申請、事業者指定申請の準備を行う予定である。

※ 資金計画（概算）は以下の通り

《土地購入について（完了）》

収入

法人自己資金 50,150,000円

借入金 52,000,000円

102,150,000円

支出

土地購入費用 100,000,000円

その他諸経費 2,150,000円

102,150,000円

《建物建設について（令和2年度以降）》

収入

法人自己資金 71,100,000円

(※令和元2年3月末現在 96,800,000円の積立金あり)

東京施設整備補助金 64,400,000円

135,500,000円

支出

設計管理費用 7,000,000円

建物建設費用 128,000,000円

その他諸経費 500,000円

135,500,000円

(4) 新規生活介護事業開設に向けた検討

【成果と課題】

具体的な検討は行っていないが、夢の樹みどりも令和2年4月で受け入れの限界を迎える見込であり、具体的な検討が必要な時期に来ている。

(5) 地域貢献事業の取組

【成果と課題】

小平市地域公益活動推進連絡会に幹事法人として関わった。社会福祉法人が地域に還元できる人的・物的な資源を市民に広く周知するための取り組みとして、「社会資源ガイド」の作成・配布を実施した。

(6) 安全運転管理の徹底（送迎中等の安全運転及び事故防止の徹底）

- (ア)安全運転講習の実施
- (イ)ドライブレコーダーの全車配備
- (ウ)定期的な安全運転チラシの配布

【成果と課題】

未来ワークセンター内において、ドライブシミュレーターによる運転の適性診断の実施や安全運転チラシの配布、また、安全運転講習会を開催した。その他、運営業務手当の創設や事故後のレポート提出等、事故防止に向けた取り組みを行った。事故の件数は減少しなかったが、軽微なものも多く重大な事故の発生はなかった。

事故内容	相手方	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
衝突	電柱、ポール、フェンス等			1	1	2	1		1		1		1	8
追突	車両			1			1		1				1	4
人身	自転車						1	1						2
接触被害	車両	1												1
合計		1	0	2	1	2	3	1	2	0	1	0	2	15
半期		9						6						

2) 人材育成

(1) 本部事務能力向上による経營業務の円滑化

【成果と課題】

8月に1名の常勤職員を採用し、労務管理事務等を本部に集約化させた。これにより、各

事業所の事務負担は減ってきており、業務の効率化が進んだ。しかし、業務の流れを理解し、各事業所へ迅速に情報伝達などを行うには至っていない。今後年間の業務の流れの理解とともに正確性の向上等のスキルアップが必要である。

(2) 施設長の育成

- ① 事業の現状把握、分析、見直しを行うための能力向上
- ② 事業計画書、実績報告書の作成スキル向上
- ③ 事業所の業務監督能力向上
- ④ 職員育成の手法取得

【成果と課題】

- ① 事業所により差が見られるが、全般的には向上が見られる。但し、自発性、主体性、迅速性は不足することが多い。
- ② 課題はあるものの、現状の把握やその説明方法に向上が見られた。
- ③ 事業所により差が見られるが、全般的には向上が見られる。財務や行政手続き等は正確に行えているが、年度途中で利用者支援に関する記録等の事務が雑な事業所もあり、指導を行い、徐々に改善が図られている。
- ④ 事業所により差が見られるが、チームの形成には課題が見られる事業所が多い。全般的に日常の観察に基づく迅速な対応、キャリアアッププランの提示、知識等の不足が要因となり、事業目的の共有が不十分となっている。

(3) 管理職候補の育成

- ① 実践を通して候補者を育成する

【成果と課題】

対象者1名に経営会議への参画、管理業務の実務、学習会等を通して育成を行い、令和2年度より、施設長への就任が決定した。しかし、今年度は、実地研修及び学習会を計画通りに実施できなかった。職員採用の遅延等による人手不足で、やむを得ない状況もあったが、研修計画を実行するという意識が薄れていたことも要因であった。

《学習会》

- |                      |       |
|----------------------|-------|
| ・ 成年後見制度－            | 3名が受講 |
| ・ 社会福祉基礎構造改革、当法人の歴史－ | 2名が受講 |
| ・ 経理－                | 2名が受講 |
| ・ 労務管理－              | 1名が受講 |

《実地研修》 法人内3名が実施。他法人は0名。

3) 経営管理

(1) 会計ソフト変更の検討

#### 【成果と課題】

会計ソフトのリース契約の満了が令和4年5月末までと時間的猶予があることから、業務の優先順位を考慮し、具体的検討は実施していない。

#### (2) 月次試算分析の精度向上

#### 【成果と課題】

7月より、経営状態を視覚的に把握しやすくする分析シートを活用し、月々の経営分析を行った。これにより、中長期的な視点をもつことや、経営状態の現状把握、また、経営悪化に対する対策について整理しやすくなり、分析内容が明確となった。

#### (3) 人事業務に関する制度および規程等の習得

#### 【成果と課題】

前述のとおり、労務管理事務については、社会労務士へ相談を行いながら滞りなく実施できている。また、外国人労働者の採用や、同一労働同一賃金に関することについて、社会労務士を講師に迎え、管理職が学習会を行った。

#### (4) 理事会開催事務の円滑化

#### 【成果と課題】

開催日の7日前に通知できるよう、開催通知および議案書を滞りなく発送した。しかし、各事業所の提出する議案資料等の文言、文章や数字の修正に時間を要し、議案書の作成が発送日直前となることが多々あった。各事業所のレベル向上と準備開始時期を早めるなどの改善策が必要である。

### 3 その他

#### 1) 理事会

月1回定期的に開催し、事案に迅速に対応していく。

#### 【成果と課題】

定期的に開催し、様々な事案に迅速に対応できた。3月は、コロナウィルス感染拡大防止の為、文書による決議を行った。

#### 2) 評議員会

6月の定時評議員会のほか、定款変更など必要に応じて開催する。

#### 【成果と課題】

6月に定時評議員会を開催し、30年度計算書類等の承認、理事及び監事の選任、理事及び監事の報酬等の額の決定、定款の変更について決議した。また、7月には、令和3年度新規グループホーム開設計画に伴う土地及び建物の担保設定について、決議の省略を提案し、評議員全員から同意を得た。

### 3) 広報活動の強化

- (1) 機関誌の年2回の発行、ホームページの定期的な更新により、広報及び情報の開示を行なう。

#### 【成果と課題】

6月及び12月に機関紙を発行し、利用者及び関係機関等へ各号ともに約1,200部を発行した。また、ホームページの掲載内容及び更新時期一覧表を作成し、必要な開示情報や定期更新に漏れがない様に対応した。

- (2) ホームページのリニューアルについて検討を進める。

#### 【成果と課題】

夢風船の利用者より、ホームページリニューアルの提案があり、法人より、リニューアルの作業委託を行った。レイアウトの変更は、令和2年度に実施する予定である。

### 4) 賛助会の充実

法人の活動に対して機関紙の発行時などを中心に広く理解を求め、賛助会を充実させる。

#### 【成果と課題】

6月及び12月発行の機関紙に賛助会入会の案内を掲載した。延186名、実人数144名の入会があり、1,160,000円の会費収入があった。(30年度:延162名、実131名の入会、計969,000円の会費収入)

### 5) 地域ネットワークの強化

- (1) 権利擁護事業・成年後見事業との連携強化

#### 【成果と課題】

法人後見センターNPO法人生活応援あらかるとと協力、連携を行った。

- (2) 防災活動

#### 【成果と課題】

各事業所が9月、3月に自衛消防訓練を実施した。小平手をつなぐ親の会と共同で実施する計画であった防災訓練については、コロナウィルス感染拡大防止により中止となった。

- (3) 自立支援協議会への参画

#### 【成果と課題】

就労・生活支援センターほっと施設長が自立支援協議会に8回出席し、同会の幹事長および事務局を務めた。

- (4) 小平市地域公益活動推進連絡会への参画

#### 【成果と課題】

上記1)(5)と同じ。